

## みえ福祉第三者評価結果

① 第三者評価機関名

株式会社経営志援

② 施設・事業所情報

名称：デイサービスセンター鈴鹿グリーンホーム	種別：通所介護	
代表者氏名：管理者 内山 智之	定員（利用人数）： 70 名	
所在地：三重県鈴鹿市深溝町北林2956番地		
TEL：059—374—4600	ホームページ：https://suzuka-greenhome.jp/	
<b>【施設・事業所の概要】</b>		
開設年月日：平成5年10月		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人鈴鹿福祉会		
職員数	常勤職員： 10名	非常勤職員： 16名
専門職員 ※重複あり	社会福祉士： 1名	福祉用具専門相談員： 2名
	介護福祉士： 3名	実務者研修修了： 2名
	介護職員初任者研修： 5名	社会福祉主事任用資格： 2名
	ユニットリーダー研修： 1名	看護師： 2名
	認知症介護実践リーダー研修修了： 1名	准看護師： 3名
	理学療法士： 2名	柔道整復師： 1名
	安全対策担当者養成研修修了： 1名	サービス管理責任者基礎研修修了： 1名
	安全運転管理者： 1名	
施設・設備の概要	デイルーム・機能訓練室	大浴場・個浴・機械浴
	面談室	

③ 理念・基本方針

<p><b>【法人理念】</b>          私たちは、地域に信頼されるべき存在であり続けます</p> <p><b>【行動指針】</b>          「気持ちをかたちに」～こころづかいを地域のみなさまに～          ～思いやりを地域のみなさまに～</p> <p><b>【行動方針】</b>          スタッフひとりひとりが「新たな目標」に向かい、チャレンジしていきます。</p> <p><b>【採用方針】</b>          わたしたちと一緒に鈴鹿グリーンホームをレベルアップしてくれる人</p> <p><b>【育成方針】</b>          「まなぶ風土」の醸成と「互いに努力を認め合える文化」の構築により「働き甲斐のある魅力的な職場」の形成と「豊かな人材」の育成を図ります。</p>
---

### 【基本方針】

通所介護の事業は、要介護状態となった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した生活を営むことができるよう生活機能の維持又は向上を目指し、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものでなければならない。(通所介護の人員、設備、運営に関する基準 第92条)

#### ④ 施設・事業所の特徴的な取組

デイサービスのさらなる質の向上と見える化の推進を掲げている。

ウェアラブル端末を用いたトレーニングマシン、体力測定機器の導入で職員の記録の負担を減らす一方、利用者にかかわる時間を増やし、機能訓練や体力測定を誰が取っても同じデータが取れる、取得したデータや結果の見える化を図っている。そのデータや結果を多職種で共有したり家族に報告することで、利用者の身体機能の理解に繋げている。

鈴鹿市から受託した「フレイル予防プログラムデイリーアクション事業」を実施している。地域の要介護認定を受けていない65歳以上の方を中心とするサロンに通う地域住民の意識向上を図り、日常的、継続的にフレイル予防に取り組むことができるプログラムを提供している。

#### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年8月1日（契約日）～ 令和5年10月31日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	1回（平成29年度）

#### ⑥ 総評

◇特に評価の高い点

##### 【質の向上に向けた組織的かつ計画的な取組】

みえ福祉サービス第三者評価のほか、内部監査や利用者アンケート、職員アンケートを定期的実施し、サービスの評価を受けた上で質の向上に向けた施策に反映、課題に応じて事業計画に盛り込むなど計画的な取組が行われている。毎月の職員会議でサービスについて振り返りを行う仕組みもあり、組織的な取組も行われている。

##### 【地域に向けた公益的な活動】

「私たちは地域に信頼されるべき存在であり続けます」の理念に基づき、地域との関わりを大切に、地域貢献活動に力を入れている。地域の健康意識が高いニーズから、法人から提案しウェアラブル端末を用いた先進的な介護予防事業（鈴鹿市フレイル予防プログラムデイリーアクション事業）を実現させるなど、行政と協力しながら地域に向けて公益的な事業を展開している点は素晴らしい。

◇改善を求められる点

【管理者の主体性】

管理者は現場のサービス業務に集中しているため、経営面や労務管理については関わりがやや少ない。管理者として、より主体的に経営や労務管理に関心を持ち、関わりを深めることに期待したい。

【利用者の安心・安全のための取組】

ヒヤリハットによる気づきを増やすことで安全確保への意識を高め、さらには改善策の評価・見直しの実施により利用者の安心・安全に繋がりたい。また、施設の安全確保に向けた体制整備について、利用者や家族への積極的な周知と理解促進にも期待したいところである。

【書類及びデータの管理】

書類の管理については、個人情報やプライバシーへの配慮等から十分とは言えない面が窺える。また、共有フォルダ内のデータが増えていることから、データの検索時間を削減できるようフォルダ整理を実施されたい。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、みえ福祉第三者評価を受審し、事業所の提供しているサービスの質について、専門的かつ客観的な立場から評価をいただいた。

評価の高い点については今後さらに推進し、また改善を求められた点については十分検討を行った上で、改善計画を策定し職員一体となりサービスの質の向上に努め、より良い事業所を目指して努力していきたいと考えている。

特にご利用者に安心・安全にサービスを利用して頂くために、職員は安全確保への意識を高める必要がある。ヒヤリハットによる気づきを増やすとともに、各支援場面（送迎・浴室・脱衣場・トイレ・フロア）での気づきを書面で残し、職員で共有したい。

⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。